

上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会「多職種連携推進・研修部会」
平成29年度活動報告（中間）

■現状と課題

- 1 研修会を各職能団体で行っているため、内容が重複している
- 2 テーマ設定などの調整が難しく、多職種連携の研修をすすめるにこなかった
- 3 研修を通して顔の見える関係づくりを行い、多職種の連携を図ることが必要

■部会の目指す姿とH29年度実施内容

多職種が連携して、対象者の生活を支えるために、退院前カンファレンス、担当者会議などを円滑に行うことができるようになることをめざす。

- 地域連携連絡票を共通のツールとして使いこなす
- 各職能団体のリーダーを養成する（年3回、3年で100人程度）
- 各職種の視点で意見交換を行い、効果的な活用方法について検討する

■部会開催状況

	月日	内容
第1回	平成29年6月22日	課題の確認及び年間計画について検討
第2回	平成29年7月10日	部会の目指す姿と研修計画の検討
	平成29年9月26日	第1回多職種連携研修会 テーマ：「地域連携連絡票について学ぶ」 ・地域連携連絡票の構成・作成方法について ・介護認定情報・意見書から地域連携連絡票の作成 ・在宅生活を支えていくために大切だと思うこと等について話し合い
	平成29年11月28日	第2回多職種連携研修会 テーマ：「退院前カンファレンスについて学ぶ」 ・退院前カンファレンスの目的や意義について ・退院前模擬カンファレンス ・本人・家族が安心して退院できるようにできること等について話し合い

■今後の取り組みの方向性

- 第3回多職種連携研修会（2月27日）
テーマ：「担当者会議について学ぶ」
- 今年度の研修会を踏まえ、次年度の研修計画の検討